

## すべてよし！

「神はこれを見てよしとされた」。

天地創造の物語の中で繰り返される心に響くことばです。神様は、「よしとされた」自然を共に生きるために人間にゆだねられました。地球は、人類を宿る素晴らしい家です。どのように今のままに進化してきたかが化学の課題ですが、わたしたちは、「与えられた」賜物として受け止めています。

天の父よ、  
あなたが皆のために与えられたこの大事な賜物を大切に  
する知恵をわたしたちにお与えください。  
わたしたちは、あなたからいただいたこの地球を、  
すべての人の共通の家として守っていく決意を新たに  
します。

そのために、自分の利己的な傾きから解放されて、  
回心を求められています。「エコロジカルな回心です」。  
皆の共通の家を、あなたの望むままに、守っていく  
知恵と寛大な心をわたしたちにお与えください。  
アーメン。



## 5

わたしたちは、見たことや聞いたことを  
話さないではいけないのです 使徒言行録 4・20

第五日曜日 (10月31日)

ステップ5 感謝の心

「わたしはこの地上に派遣されているのです。  
そのために、私はこの世にいるのです。人々を  
照らし、祝福し、励まし、起き上がらせ、いやし、  
開放する使命の焼印を押された者として…」  
と同時に、たくさんの兄弟と姉妹とともに救いの  
喜びに預かって主の食卓を囲み賛美と感謝の歌を  
ささげましょう。

(『福音の喜び』273)



祈りの旅を続けましょう。今週オセアニア  
大陸その島々に生きている人々のために  
祈りましょう。

主よ、オセアニアのために祈ります。  
今でも人間の支配によって汚されたり、傷ついたりしていない  
この地の一部があなたの創造のわざをうかがわせてくれます。  
オセアニアに住む人々の間で働く宣教師たちが 愛と尊敬と  
寛容に満ちた心を持って彼らの間にあなたの福音をもたらさ  
しますように。アーメン。

THANKSGIVING

福音宣教の手 ⑤

小指は 「祈り」(prayer)



イエスはひざまずいてこう祈られた。  
「父よ、御心なら、この杯をわたしから取りのけてください。しかし、わたしの願いではなく、御心のままに行ってください。」すると、天使が天から現れて、イエスを力づけた。イエスは苦しみもだえ、いよいよ切に祈られた。汗が血の滴るように地面に落ちた。  
ルカ 22・42-44

祈りは自分のために、神に働いてもらう、自分の願いをかなえてもらうためのものだと考えるなら、それは祈りではなく宗教的な取引です。祈ることは、神のみ旨を変えさせることではなく、わたしたちが神のみ旨に従い、実現できるように自らを差し出す行為なのです。

また、祈りは相手とつながることです。「祈り」は、関係すること、かかわり合うことです。つまり、毎日の祈り、みなさんの祈りは、それを必要としている人、自分の知らない誰かをも支えます。祈りはつながりですから、遠く離れた知らない相手のためにも祈ることが立派な愛の実践の一つです。



主日の福音から黙想のヒント

Shema Israel! イスラエルよ、聞け!… (マルコ 12.28-34)

幸せになるため、喜びと感謝の中で生きるために、イスラエル人と一緒にこの祈りで毎日を始めればいい。イスラエルよ、聞け! 神と人を愛すること! 力の限り! イエスの生涯はその生きた完全な姿。それが分かる。神の国が遠くはないがそれに入るために実践するのですね。

一緒に祈りましょう (共同祈願)

- ☆ 宣教の月の終わりに当たって、一か月の気づきと恵みを感謝します。これから福音宣教の心を日常の中で忘れず、生きる喜びになりますように。
- ☆ キリストの救いの恵みを聞いて信じ、愛の絆で結ばれて全人類が神の一つの家族になりますように。

